

## 65 授 業

今週は校内事情により、3つの学級に入り、授業をさせていただきました。

学校運営の柱の一つとして「わかった」「できた」授業を！と各担任の先生方に言っている手前、少なからず「わかった」「できた」の授業を心掛けましたが、ついつい子どもたちと過ごす時間が楽しく、脱線気味になってしまいました。

副校長そして校長となる前は、もちろん学級担任として日々授業をしていましたが、その時の私個人の授業のモットーは「楽しくなければ授業じゃない」というものでした。しかし、その楽しさとは、ただ単に面白おかしいということではなく、「なぜ？」「どうして？」という疑問が「ああなるほど」「へえ～そうなのか」という、興味・関心を自分の力や友達との協働、討議等を通して解決する喜びを指すものです。

目指すところはたいそう立派なのですが、そうそうまくはいかないのが現実です。自分の授業を振り返り、来週に改善をつなげていきたいと思っています。おそらくこの考えは、本校の経験の浅い教員もベテランの教員も同じです。そうして徐々に「わかった」「できた」の授業に近づいていくのです。